



白五小だより

平成29年 2月13日 (月) No.27
白河市立白河第五小学校 発行責任者 嶋 忠夫
TEL 0248-28-2004 / FAX 0248-28-2042
http://www.shirakawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=60

いじめは絶対に許されません！いじめのを目指して！

早いもので、2月も中盤となってしまいました。本当に時が過ぎるのは早いですね。

さて、先週、福島県内の中学一年生が自ら命を絶つという悲しい出来事がテレビや新聞で報道されました。本当に痛ましく残念でなりません。その原因が、「いじめ」であると言われています。いじめによる自殺が後を絶たないことは、本当に心が痛むことであり、学校の責任を強く感じます。本人はもちろんのこと、両親、兄弟姉妹、祖父母などのその子の周りを取り巻く多くの方々の心の痛みを考えると、胸が張り裂けそうになります。

本校においては、「学校いじめ防止基本方針」を定め、いじめ問題について次のように認識し、その絶無に向けて取り組んでいます。

< 本校におけるいじめ問題についての基本認識 >

- 1 いじめを報告するのが悪い学校ではない。いじめを発見し解決するのがいい学校である。
- 2 弱いものをいじめることは人間として絶対に許されない。
- 3 いじめられている児童の立場に立った親身な指導を行う。
- 4 いじめの問題は、教師の児童観や指導の在り方が問われる問題である。
- 5 いじめは家庭教育の在り方に大きく関わっているので、家庭との連携を十分に行う。
- 6 家庭・学校・地域社会などすべての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体となって真剣に取り組む。

そして、道徳の時間を核としながら、すべての教育活動の中で、思いやりの心やいじめを許さない気持ちがはぐくみ、いじめの未然防止に努めています。また、いじめの早期発見のために、年に4回の児童へのアンケートや毎日の生活ノート、複数の教師による児童の観察などを通して、子どもの思いをつかむようにしています。

そして、いじめが疑われる場合は、担任だけで対応するのではなく、校長、教頭、教務主任、生徒指導主事、養護教諭、スクールカウンセラーなどによる「いじめ対策委員会」を編成し、組織的に対応してまいります。

いじめへの対応は、未然防止と早期発見・早期対応が大切であると考えます。ぜひ、お子さんの様子がおかしいなと思ったら、すぐに学校にご連絡ください。また、次の「家庭でのいじめ発見チェックポイント」を参考に、子どもの様子を見てください。

子どもたちが、楽しく伸び伸びと学校生活を送ることができるよう、ご家庭のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



家庭でのいじめ発見チェックポイント

- 朝、なかなか起きてこない。
- いつもと違って、朝食を食べようとしない。
- つかれた表情をしている。ぼんやりとしている。
- 登校時間が近づくと、頭痛や腹痛、吐き気などの体調不良を訴える。
- 服のよごれや破れ、からだにあざやすり傷があっても理由を言いたがらない。
- 自分の部屋にこもりがちになる。
- お風呂に入りたがらなくなる。
- 学用品や持ち物がなくなる。
- 成績が下がる。
- ため息をつくことが多くなる。
- 友達の話をしなくなる。いつも遊んでいた友達と遊ばなくなる。
- いじめの話をする、強く否定する。
- 親と視線を合わせない。
- 家族と話をしなくなる。学校の話をしなくなる。
- 親に反抗したり、弟や妹をいじめたりする。



5年生が豆まきをしました!



2月3日の節分の日に、年男年女の5年生が、新聞紙で作った袴を着て、豆まきをしてくれました。「鬼は外!福は内!」と元気な掛け声とともに、各教室をまわって豆をまきました。

それぞれ、「忘れんぼう鬼」や「けんかする鬼」、「きめっこ鬼」など追い出したい鬼を決めて、追い出したようです。

節分も終わり、いよいよ春の訪れです。一回り大きくなって子どもたちは、卒業、進級に向かっていきます。



ちょっといい話

2月6日の放課後に、鼓笛の全体練習を行いました。この日は、6年生が下級生に指導する最後の日でした。どのパートの6年生も、下級生のそばに寄り添い、最後の指導をしていました。やさしい言葉かけもたくさん聞かれました。

まだまだ自分たちが先頭に立って学校生活を送りたいという気持ちもたくさんあるでしょうが、一つ一つ下級生に受け渡していきます。自分たちがやり遂げたという自信と引き継ぐ寂しさを感じながら、最後の練習に取り組む6年生でした。

そんな6年生の思いを感じながら、下級生は真剣に練習に励んでいました。鼓笛隊の移杖式は、3月2日の6年生に感謝する会の中で行います。6年生、おつかれさまでした!

